



これまで世界で最大の被害を出した地震は、何という地震なの

1556年、中国の西安の近くで起こった

日本は、世界でも地震の多い国です。そのため、地震災害に対する知識も豊富で、地震対策が進んでいて、地震が多いわりには、ほかの国に比べて、被害が少ないようです。日本で起こった最大の地震は、1923年9月1日に起こった、関東大地震です。この地震で、約14万2000人の人が亡くなりました。

世界で起こった最大の地震は、1556年、中国の西安の近くで起こった地震で、83万人もの人が亡くなりました。現在の徳島県の、全人口と同じぐらいです。関東大震災に比べて、いかに被害が、多かったかがわかります。

20世紀では、中国の唐山（タンシャン）市で起こった大地震

中国では、たびたび大きな地震が、起こっていますが、20世紀に起こった、地震の中で、最大の死者を出したのは、1976年7月27、28日、唐山（タンシャン）市で起こった地震です。24万人以上の人々が亡くなり、70万人以上の人々が、けがをしました。このとき、唐山市から150キロメートルはなれた、北京でも大きなゆれがあって、建物がこわれました。

唐山地震では、長さ140キロメートル、はば15キロメートルにもなる、横ずれ断層（地層がくいちがう）が起こった（平均2.7メートルずれた）のが原因でした。

中国の地震は、震源地が、人口の多い都市の地下や、その近くで起こるために、被害が大きくなってしまいます。（監修・国司 真）

